



# 義務教育学校 曾爾小中学校だより

令和4年(2022)11月1日  
編集発行責任者 森川 敏和

## 学校教育目標

「心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもち、ふるさとを大切にすることの育成」

## 本の魅力とは・・・?

登校時に本を持って「おはようございます!」と元気よく挨拶をしてくれ人がいます。昇降口の掲示板に『図書貸出しランキング』を定期的に図書委員会が掲示してくれています。多くの人が読書を楽しんでいると思いますが、読書をあまりしない人もいます。そこで今月は、人を引きつける『本の魅力』についてお話しします。



まず『本の魅力』の1つ目は、『新しい世界との出会い』です。物語は、自分の知らないさまざまなことを登場人物を通して教えてくれます。本を読み進めていくことで知らず知らずのうちに、読み手から登場人物の誰かになりかわり、出来事を体験しながら未知のことがらを学んでいきます。また、図鑑などは、物の名前だけでなく、その物の仕組みにも触れている本が多くあります。読書は、もっと知りたい、もっと読みたいという気持ちを引き起こしてくれる『新しい世界への扉』とも言えます。

2つ目は、『自分の世界をつくれる』ことです。物語を読んで、自分が登場人物の誰かになったかのように、本の世界に引きずり込まれることがあります。これは、文字でかかれていた話を、みなさん自身の『想像力』によって、絵、写真、動画として描き直しているからです。頭の中で、風景や音、匂い、手触りなどを細かく感じ取っているのです。

テレビやゲームでは、映像や音などたくさんの情報が私たちの頭の中に入ってきます。だから、あえて想像力を働かせる必要はありません。しかし、本の物語などからは、入ってくる情報が限られているため、頭の中の感性(何かを見たり聞いたりした時に深く心に感じ取ること)が目まぐるしく働き、「自分なりに感じた本の世界」をつくり始めます。これこそが、読書の一番大きな魅力だと思います。ほかにも、深い感動を覚えたり、自分自身を見つめ直すきっかけになったりする魅力が本にはあります。いずれもテレビやインターネットでは十分に体感できないことです。素敵な本と出会い、皆さんなりの感じ方で、『本の魅力』を味わってほしいと思います。



## 9年 修学旅行 10月5・6・7日

今年度も、「滋賀・三重」方面への修学旅行となりました。1日目は、信楽たぬき村で絵付け体験をした後、滋賀県平和祈念資料館での平和学習。戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、平和を願いました。その後訪れたEnglish Gardenローザンベリー多和田には、「五感で感じる自然の癒し」をテーマに四季折々の宿根草が植栽されており、多くの写真を撮りました。2日目は、三重県桑名市長島町にあるナガシマリゾートでいろいろな乗り物に乗りました。幼児から大人まで楽しめる国内最大の遊園地で総アトラクション数は60以上もあり、時間内に回りきれませんでした。

最終日は、天候は雨になりましたが鳥羽水族館の見学、伊勢神宮・おかげ横丁での参拝と買い物を満喫し、多くのお土産と思い出を奈良へ持ち帰りました。

【信楽たぬき村】



【平和祈念資料館】



【ローザンベリー多和田】



【ナガシマリゾート】



【鳥羽水族館】



【伊勢神宮】



【おかげ横丁】



## 6年 修学旅行 10月16・17日

昨年同様今年度も「三重」方面への修学旅行となりました。事前学習で、御杖・曾爾6年交流を何度も行い、仲間の絆も深めることが出来ました。1日目の午前、三重県津市香良洲歴史資料館で平和学習を行い、資料館ガイド濱田さんから空襲の話などを聞かせていただき、三重海軍航空隊や戦時下の市民生活について学習しました。その後、伊勢神宮を参拝し、おかげ横丁で買い物をしました。午後は、鳥羽水族館を見学しました。2日目は朝から雨でしたが、志摩スペイン村に到着してしばらくすると雨もやみ、園内を御杖小・中学校のお友達と楽しみました。

【香良洲歴史資料館】 【伊勢神宮】 【おかげ横丁】 【鳥羽水族館】 【鳥羽水族館】



【志摩スペイン村】



【志摩スペイン村】



【志摩スペイン村】



【志摩スペイン村】



【バス内解散式】

